

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

### インフルエンザ(新型インフルエンザ)情報

インフルエンザ患者数は県内の内科と小児科の医療定点(199か所設置)からの報告によるものですが、現在はほとんどが新型インフルエンザ患者と考えられています。インフルエンザの定点あたり患者数は**3.61人**(先週2.51人)とさらに増加しました。

地域的には宝塚保健所管内を中心に県南東部の患者数が多い傾向が見られます。宝塚保健所管内の定点あたり患者数は8.78人で注意報基準である定点あたり10人に近づいています。

患者の年齢分布は10歳未満が37%(先週40%)、10歳代が51%(同41%)、20歳代が5%(同9%)、30歳以上が8%(同10%)となっていて、先週と比較して10歳代(特に10-14歳)の割合が急増しました。

県内の学校でのインフルエンザによる学級閉鎖等の状況は、休校4校、学年閉鎖15校及び学級閉鎖80校の合計99校(前週は51校)に増加しました。それらのうち小学校が64校と全体の約1/3を占めています。社会福祉施設等(保育所を除く)でのインフルエンザ集団発生状況は16施設(前週は13施設)とこちらも増加しました。詳しくは兵庫県のホームページの新型インフルエンザ記者発表資料をご覧ください。

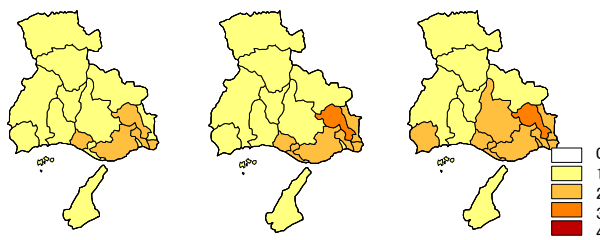
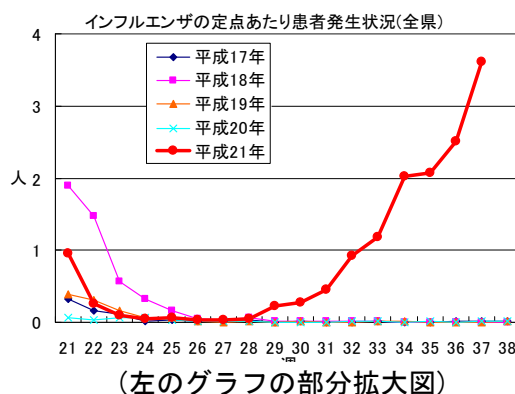
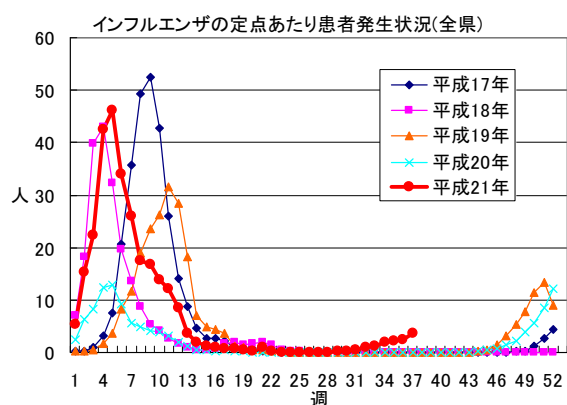
<http://web.pref.hyogo.jp/contents/000135912.pdf>

都道府県別では沖縄県にインフルエンザ流行の警報レベル(定点あたり患者数30人以上)の保健所が、北海道、宮城県、東京都、神奈川県、大阪府、福岡県、大分県及び長崎県に注意報レベル(定点あたり患者数10人以上)の保健所があります。

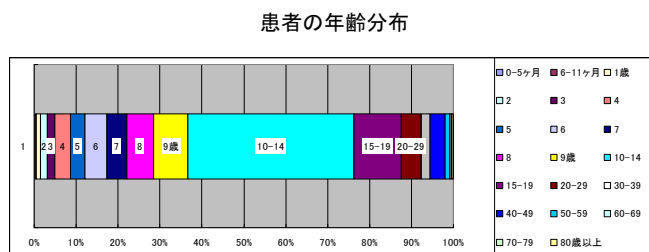
新型インフルエンザの本格的な流行は必至の状況となってきました。手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。受診に際しての注意点等は次のホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.jp/contents/000135912.pdf> (兵庫県新型インフルエンザ記者発表資料)

<http://web.qg.pref.hyogo.jp/hyogo/> (兵庫県医療機関情報システム)

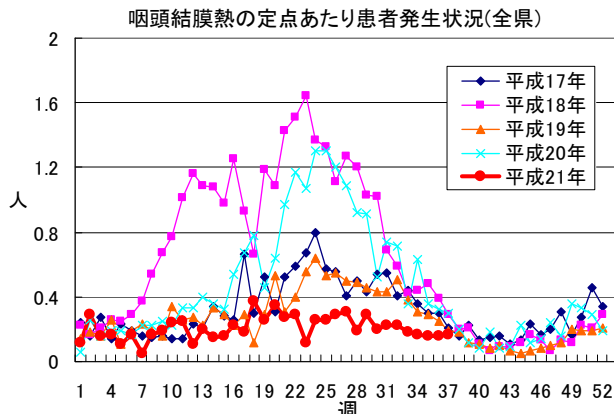
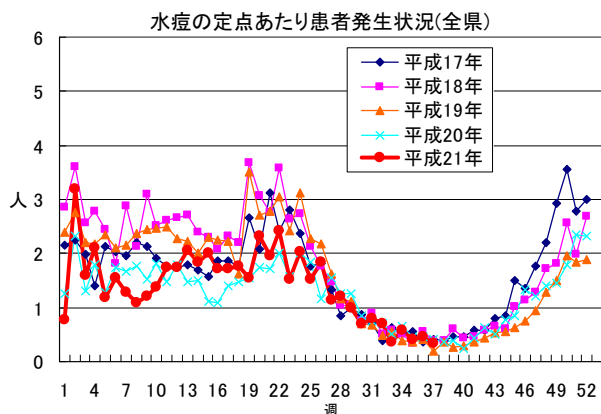
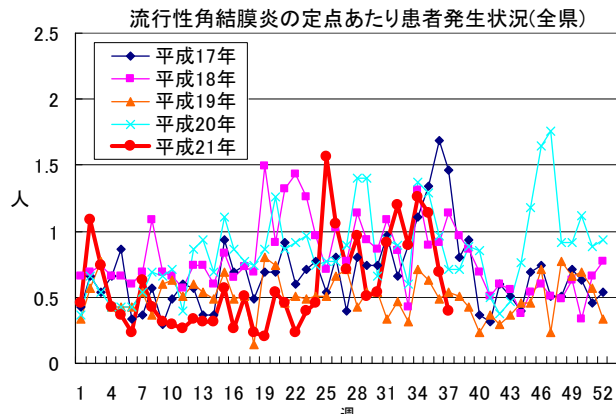
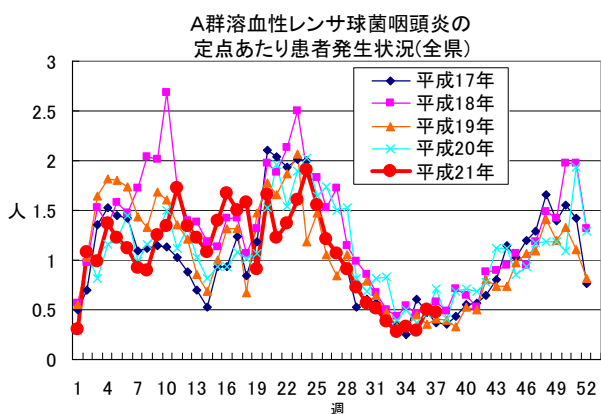
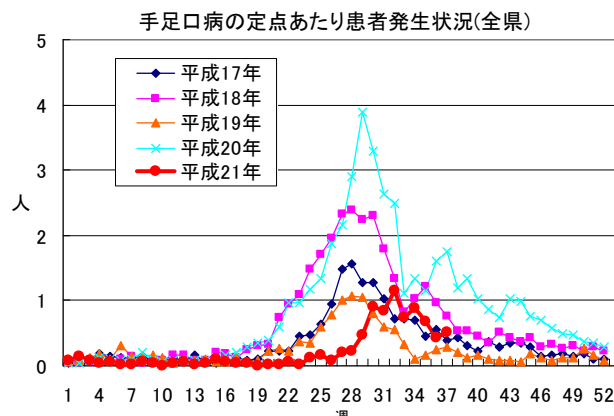
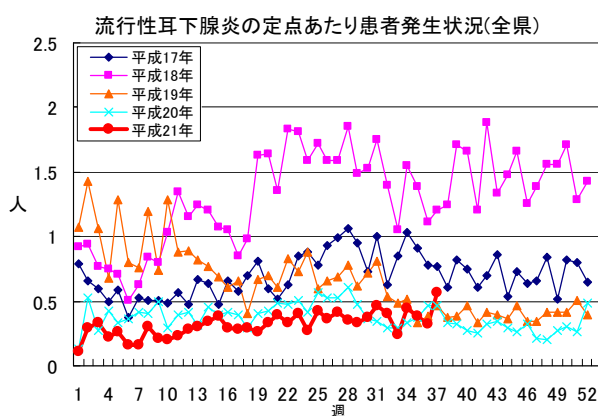
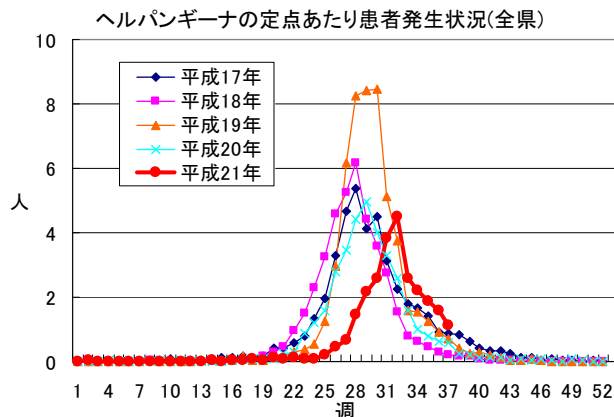
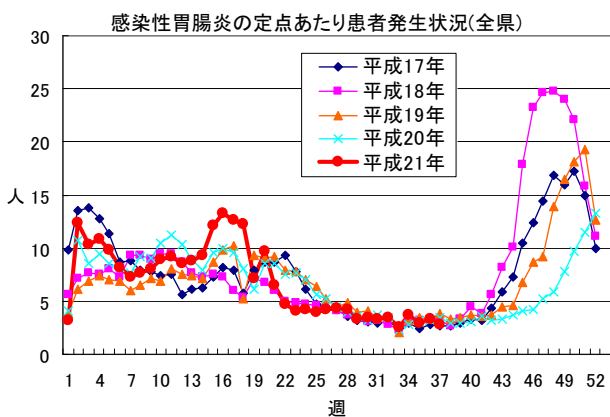


(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています)





目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。  
 また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。